

「未来の学び」創造シート

緑野小学校 1年1・2・3組
 授業者 吉原あつ子(緑野小学校)
 三井田 学(緑野小学校)
 野上 悠(緑野小学校)

1 題材名

国語科「めざせ よみ名人」 3組
 「ちょっとかわったよみかた」 1・2組

2 教科・領域の「ねらい」

- 特殊音節の入ったことばに関心をもつ。○ 特殊音節の入った語彙を増やす。
- 拗音・拗長音の音を正しく聞き取り、音と表記を正しく一致させることができる。
- 特殊音節（促音・拗音）を含んだ語を想起すること。
- 特殊音節（促音・拗音）を含んだ語を適切な表記で書くこと。

3 キャリア教育の視点からの「ねらい」

基礎的・汎用的能力	ICT・学校図書館 活用型授業	協議型授業	外部人材 活用型授業
人間関係形成 社会形成能力			
自己理解 自己管理能力	○	◎	
課題対応能力			
キャリアプランニング能力			

4 授業の概要

特殊音節の習得が苦手な児童の早期発見をするためのアセスメント用テスト及び、児童の特殊音節習得支援をするための学習教材から構成される「多層指導モデルMIM」を活用した授業です。

本校の児童は月1回アセスメントを行い、児童の読みの力についてのつまずきを把握して、個別に指示を出したり、確認をしたりするなどの支援をしています。タブレットPCを使い、MIMのトレーニングも行ってきました。特殊音節のルールについての指導は、1年生全学級で夏休み前に行いました。



今回の授業は、

3組では、これまで毎月1回の頻度で進めてきたタブレットPCを活用したアセスメント用テストとトレーニングを中心に実施します。

そして、1組では、「ことば絵カード」(左図)を自分で作ることを通して、特殊音節を含む語の理解を深め、正しく表記することができるようにすることを目指していきます。

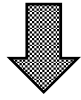
さらに、2組では自分で作成した「ことば絵カード」を活用して交流したり、言葉集めを行ったりすることを通して特殊音節を含む語の理解をさらに深めて、正しく表記できるようになることを目指していきます。

5 学習活動の流れ

【1年3組】

課題を提示する。

○ICTを活用してモニターに大きく提示し、全体で課題を把握する。



MIMの特殊音節のアセスメント
トレーニングを行う。

○タブレットPCを活用し、MIMのアセスメント・トレーニングを行う。



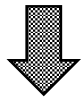
特殊音節の入ったカルタを活用し
交流をする。

○拗音・拗長音の入ったことばを聞いて、拗音・拗長音のカードを取る。
○拗音・拗長音の音と表記を一致させる活動として用いる。
○読み札を聞いてもすぐに表記がイメージできない子供に対しては、繰り返し発音させるなどして、音を意識づけながら、どの表記になるのかを確認させていく。

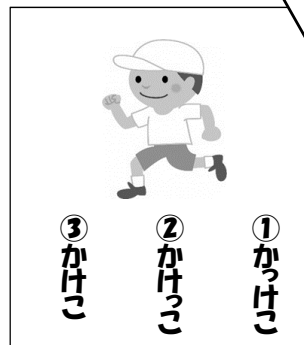


【1年1組】

特殊音節の表記で間違いやすいところを
考える。



「ことば絵カード」を
自分で作る。



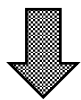
○促音(小さい「つ」)、拗音(小さい「や・ゆ・よ」)が入った言葉を考える。
○小さい「つ」の位置、小さい「や・ゆ・よ」を大きく書いてしまう、適切でないものをかいてしまうなど間違いやすいところを意識して、正答以外の選択肢を考える。
○カードに①～③までの選択肢と、イラストを描く。



【1年2組】

特殊音節の入った自作問題を、互いに解き合う。

○ 選択肢を声に出して読み、正解を確認する。



特殊音節のある言葉を想起し、言葉集めをする。
集まった言葉を、板書で分類整理する。

○ 想起した言葉を短冊に正しく書く。

○ 分類した言葉を声に出して読み上げ、特殊音節の表記の確認をする。

6 小中連携キャリア教育の視点から

自分自身にあった「学び方」を気付かせます。今後の自分の成長のために自分にあった、自分らしい学び方を探り、今後の学びにつなげます。